平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場会社名　愛眼株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　9854　URL　http://www.aigan.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 下條　三千夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 向井　勇　TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,335	△10.2	△93	―	24	―	△1	―
23年3月期第1四半期	4,826	△11.0	△204	―	△171	―	△571	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　10百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△600百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.10	―
23年3月期第1四半期	△28.70	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	23,436	20,786	88.7
23年3月期	23,600	20,815	88.2

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　20,786百万円　23年3月期　20,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	2.00	2.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,597	△5.5	222	―	326	―	284	―	14.45
通期	18,354	△3.6	76	―	201	―	113	―	5.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	21,076,154 株	23年3月期	21,076,154 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,396,692 株	23年3月期	1,396,682 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	19,679,470 株	23年3月期1Q	19,911,650 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P2.「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米の金融政策による円高への懸念や東日本大震災及び原発事故による計画停電の影響等により、回復に向かいつつあった企業業績が落ち込みました。雇用や所得環境も厳しい状況が続き、先行きへの不透明感から個人消費が低迷し、眼鏡業界におきましても下落した着単価の回復は遅れ、企業間競争は厳しさを増しています。

このような状況のもと、当社グループは引き続き高機能・高品質で安心な商品と満足度の高いサービスの提供によるリピーターづくりに努めるとともに、復興関連需要などをはじめとした自立的な経済の回復と個人消費の拡大を期待し、根強い支持をいただいている団塊世代などの固定客層は勿論、新規客の掘り起こしを目指し団塊ジュニア層や若年層などへ営業活動の強化に取り組みました。営業店舗を再編し新たにＡｉｓｙ営業部を発足し、大型ショッピングセンターや駅前商業ビル、ファッションビル等に出店する「ＡＩＧＡＮ」「ＳＹＺ」37店舗のリニューアルに順次着手し、店内を明るいカラーで統一、低価格商品を拡充し、若い世代が入店しやすい店舗づくりを進めております。前年同期比で販売着単価は下落したものの、多くのお客様に来店していただき販売着数を伸ばすことができた結果、売上は増加しました。

また、既存の「メガネの愛眼」店舗においては不採算店１店舗を閉鎖しましたが、ターゲットを絞り込んだ販売促進策「Ｍｙライフ×（ｍｅｅｔｓ）Ｍｙメガネ」をキャッチフレーズに掲げ、地域ごとに業態に応じ新たな営業活動をスタートしました。一部で効果が表れはじめ販売着単価が回復しつつあるものの、展開が進むロープライス均一店やディスカウント店の影響もあり、全年齢層で販売着数は落ちたままで推移し売上も減少しました。そのため今後、販促の強化と用途別新製品の投入、店頭でのカウンセリングの徹底に努め、顧客との信頼関係構築と売上増加を図る所存です。

利益につきましては、低価格化が進むなかＯＥＭなど仕入れ段階でのローコストオペレーションを追求すると共に、チラシなど広告宣伝費の重点配分見直しや人件費の圧縮、店舗閉鎖に伴う諸経費の支出減少など経費削減に努めました。

海外(中華人民共和国)におきましては、優良物件への店舗展開を進め19店舗（フランチャイズチェーン店を含む）となりました。競合店との競争は激しくなってきておりますが、日本国内の施策を参考に積極的に営業活動を進め売上増加を図ってまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は4,335百万円（前年同四半期比10.2%減）、営業損失は93百万円（前年同四半期営業損失204百万円）、経常利益は役員退職慰労引当金戻入額101百万円を営業外収益に計上したことなどから24百万円（前年同四半期経常損失171百万円)となりました。また、四半期純損失は 1百万円(前年同四半期純損失571百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は23,436百万円、負債合計は2,649百万円、純資産合計は20,786百万円となりました。前連結会計年度末に比べ負債合計が135百万円減少し、純資産合計が29百万円減少した結果、自己資本比率は88.7%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年７月８日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（役員退職慰労引当金）

当社は、従来、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、退職慰労金制度の廃止に伴い、平成23年６月29日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金の打切り支給を決議しました。また、その後、退任取締役及び退任監査役並びに重任した取締役及び監査役から役員退職慰労金の一部返上の申し入れがありました。これに伴い、役員退職慰労引当金を取崩し、当第１四半期連結会計期間末における未払額については、流動負債の「その他」に296百万円、固定負債の「その他」に143百万円を計上すると共に、役員退職慰労引当金戻入額として101百万円を営業外収益に計上しております。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,416	7,193
受取手形及び売掛金	940	923
商品及び製品	2,248	2,368
原材料及び貯蔵品	18	18
その他	154	222
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	10,769	10,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,235	8,245
減価償却累計額	△5,665	△5,717
建物及び構築物（純額）	2,570	2,527
土地	2,140	2,140
その他	2,768	2,770
減価償却累計額	△2,346	△2,375
その他（純額）	421	394
有形固定資産合計	5,132	5,063
無形固定資産	182	173
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,894	4,794
投資有価証券	719	718
長期預金	200	300
その他	1,765	1,710
貸倒引当金	△64	△41
投資その他の資産合計	7,516	7,482
固定資産合計	12,830	12,718
資産合計	23,600	23,436

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	658	701
未払法人税等	132	39
賞与引当金	145	73
その他	900	1,286
流動負債合計	1,836	2,100
固定負債		
繰延税金負債	12	12
再評価に係る繰延税金負債	18	18
役員退職慰労引当金	540	―
負ののれん	7	6
資産除去債務	348	346
その他	21	166
固定負債合計	948	549
負債合計	2,784	2,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	13,004	12,963
自己株式	△967	△967
株主資本合計	24,477	24,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33	△24
土地再評価差額金	△3,624	△3,624
為替換算調整勘定	△4	△1
その他の包括利益累計額合計	△3,662	△3,650
純資産合計	20,815	20,786
負債純資産合計	23,600	23,436

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	4,826	4,335
売上原価	1,617	1,335
売上総利益	3,209	3,000
販売費及び一般管理費	3,413	3,094
営業損失（△）	△204	△93
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	6	5
受取家賃	7	9
役員退職慰労引当金戻入額	－	101
負ののれん償却額	1	1
その他	21	12
営業外収益合計	43	136
営業外費用		
固定資産除却損	1	0
店舗閉鎖損失	0	4
賃貸費用	6	7
保険解約損	2	－
その他	0	5
営業外費用合計	11	17
経常利益又は経常損失（△）	△171	24
特別利益		
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
投資有価証券評価損	2	0
投資有価証券売却損	－	0
減損損失	6	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	360	－
特別損失合計	369	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△540	24
法人税、住民税及び事業税	26	26
法人税等調整額	3	△0
法人税等合計	30	26
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△571	△1
四半期純損失（△）	△571	△1

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△571	△1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	9
為替換算調整勘定	0	2
その他の包括利益合計	△29	11
四半期包括利益	△600	10
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△600	10

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。